

鳥取支部の歩み

鳥取支部 八木俊彦

当支部はひよんなことで結成されユニークな活動を行って来ました。私(八木)が地球サミット(1992年)の国連環境NGOメンバーの参加資格を得るためにCASAのにわか会員になるというのが、そもその始まりでした。そんなことで地球サミットに参加してみましたら、山村さん(現代表理事)や早川さん(専務理事)、あるいは事務局や生協関係の女性の皆さんなどCASAの人たちはいずれも素晴らしい人たちと感じてCASAに入会したくなり、地球サミット後にCASAに入会しました。

その頃、地球環境政策の一つとしての森林減少対策(特に熱帯林)が極めて不十分であり、国連に独自の対策機関(IPF)を設けて対策の進展を図るという動きがあり、さらには1997年には地球サミット5年間の中間的総括会議、1998年には地球温暖化対策の重要会議COP3(京都会議)が開かれる状況でした。これらの動きは私の専門である森林政策に関係があるので私の勤務する鳥取大学で、私が森林学を学ぶ学生有志と図り、これらの動きに取り組むことにしました。かくてCASA鳥取支部が結成されました。1996年だったかと記憶します。



鳥取「カニ・カモ」ツアー



鳥取 北栄町風車見学

支部といいましても、私が責任者になって5～10人ほどの学生や市民の人たちと活動を行うささやかな任意団体で、CASA理事会や事務局と相談しながら、地球環境問題・地球サミット・環境NGO・CASAなどについて勉強し、毎年1回は大阪からCASAの皆さんに親睦・交流も兼ねて来てもらいました。多い時は10人も来られ、鳥取の学生や市民との有意義で楽しい機会を度々持ちました。97年の前記国連会議にはNGOメンバーとして鳥大生7人をデメンバーとニューヨークに派遣し、98年のCOP4には鳥大生2人をブエノスアイレスに派遣したりして盛り上がりました。

そうこうするうちに私が2007年3月に退職し、大学生と接触し難くなって今までのような支部活動が少し困難になりました。が、幸いにも地元の優秀なNPO「賀露おやじの会」(代表藤田充さん)の主要メンバーに入会してもらい、地元の熱心な環境活動家の人たちにも関心を強めてもらっていますので、今後の活動を大きく発展させようと張り切っています。